



県小学校体操発表会出場への取組から

6/9(日), とくぎんトモニアリーナ(徳島市)で行われた『徳島県小学校体操発表会』に, 本校児童6名が, 阿南市の代表選手として出場しました。

徳島県小学校体育部会では, 児童の体力向上の励みに, 水泳(検定会), 陸上(記録会), 体操(発表会, 市は検定会)の三事業を実施しています。水泳は参加への標準タイム, 陸上は学校毎に参加枠があり, それらをクリアして市, 県の検定・記録会へ出場します。

体操は, その競技の特性から市町村毎に県発表会への参加をローテーション制としています。阿南市では現在21小学校が, 年に2校ずつ出場します。本校は令和6年が出場の年となっていました。

体力向上は本県教育の重要な柱の一つですが, このこともあり, 昨年春から全校児童の体力向上の取組(毎金朝のザ・FUKUIサーキット^①等)を始めています。市体操検定会は, コロナ禍を経て各校分散実施ですが, 体育の授業で全児童がマット・跳び箱・鉄棒の技を学習した上で, 希望者が受検^②しました。

そして, 今年度, 5月に出場希望者を募り, 月水金の放課後に練習を重ねました^③。前日の参観日には, 全児童・保護者の前で本番どおりの演技を行うリハーサル^④の場^④を設け, 全校からの拍手で送り出しました。

さあ本番。堂々とした演技は, 立派な阿南市代表でした^⑤。昨日の報告会では, それぞれに, 新しい技ができるようになって嬉しかった, 不安な心に負けずに出場してよかった, 緊張せずに全力が出せた, 練習してきてよかった, 何よりも練習することの大切さが分かった等, 堂々と自分の言葉で感想を伝えました。「次は自分が!」と思っている児童も少なくありません。

挑戦は, 結果が見えない不安との戦いでもありません。不安だから練習(努力)します。勉強も運動も, この努力できる人を育てる機会だと考えます。

